

# 委託業務特記仕様書（令和8年7月1日以降適用）

## （共通仕様書の適用）

- 第1条 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書（令和8年7月）」、「徳島県設計業務共通仕様書（令和8年7月）」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書（令和8年7月）」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

委託業務共通仕様書について

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7314451/>

## （成績評定の選択制（試行））

- 第2条 当初業務委託料（税込み）が100万円を超え500万円未満及び、変更契約で業務委託料が100万円を超えた土木工事に係る測量、設計、試験及び調査の委託業務（建物調査、不動産鑑定、除草、現場施工管理等の委託業務は除く）は、別に定める「委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領」を適用する。
- 2 前項の対象業務の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「委託業務（土木）成績評定に関する意向確認書」を発注者契約担当に提出しなければならない。
- 3 履行途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、完了時、変更契約により業務委託料（税込み）が100万円以下となった場合は、評定は行わないものとする。

委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215929/>

## （受発注者共同による品質確保）

- 第3条 重要構造物（橋梁、トンネル、樋門、砂防等）設計や、補修設計において、必要であると判断された場合は、情報共有（設計条件の留意点、関連業務の進捗状況、設計変更の提案等）・設計方針の確認を目的とした、合同現地踏査等の発注者、受注者（測量、地質、調査、設計）で設計条件・方針を確認できる場を設けることができるものとする。

なお、費用及び参加者等の詳細については、監督員と協議の上、決定するものとする。

## （ウィークリースタンス）

**第4条** 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に取り組まなければならない。

- (1) ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）
- (2) マンデー・ノーピリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
- (3) フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）

2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。

3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。

4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。

5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

#### **（Web会議【発注者指定型】）**

**第5条** 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web会議（発注者指定型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

2 Web会議は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

#### **（Web検査【発注者指定型】）**

**第6条** 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web検査（発注者指定型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

2 Web検査は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

#### **（業務箇所への遠隔臨場【受注者希望型】）**

**第7条** 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「遠隔臨場（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「委託業務における遠隔臨場に関する実施要領」を適用する。

2 受注者は、遠隔臨場の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施を決定するものとする。

委託業務における遠隔臨場に関する実施要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215928/>

### **(オンライン電子納品)**

**第8条** 受注者は、オンライン電子納品の実施を希望する場合、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」における着手前協議を実施し、監督員の承諾を得たうえで、オンラインにより電子納品をすることができる。

2 なお、オンライン電子納品を実施する場合、次の URL にある「オンライン電子納品実施要領」を適用することとする。

オンライン電子納品実施要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7312755/>

### **(情報共有システム活用業務【受注者希望型】)**

**第9条** 受注者は、情報共有システム（以下「システム」という。）の活用を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、システム活用の試行対象業務（以下、「対象業務」という）とすることができる。

2 対象業務は、次の URL にある「情報共有システム活用試行要領について」を適用することとする。

情報共有システム活用試行要領

徳島県 CALS/EC

<https://e-denshinyusatsu.pref.tokushima.lg.jp/cals/category/download/jyouhoukouyouuu/>

### **(CIM活用業務【受注者希望型】)**

**第10条** 本業務は、CIM (Construction Information Modeling, Management) を活用し、建設生産・管理システム全体の課題解決および業務効率化を目的とした「CIM活用業務（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「CIM活用業務試行要領」を適用する。

2 受注者は、CIM活用業務の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施を決定するものとする。

CIM活用業務試行要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7238626/>

### **(熱中症対策費（施設・設備）の対象業務)**

**第11条** 本業務は、熱中症対策費（施設・設備）の適用対象業務である。

2 管理技術者等は、熱中症対策（施設・設備）を実施する場合は、「熱中症対策費（施設・設備）計画書」を提出し、監督員と協議を行うことができる。なお、協議が整い、対策を実施した場合、「委託業務の熱中症対策費（施設・設備）」に係る積算要

領」に基づく設計変更の対象とする。

委託業務の熱中症対策費（施設・設備）に係る積算要領

徳島県 HP

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7314043/>

**（本業務の特記仕様事項）**

**第12条** 本業務における特記仕様事項は、別添「R 8 阿土 阿南県土管内 阿南・羽ノ浦他 既存盛土等調査業務 業務仕様書」のとおりとする。

(業務の目的)

第1条 本業務は、「R7 都市 盛土規制法に基づく既存盛土等分布調査業務」の成果に基づき抽出された各箇所について、既存盛土等の安全性を評価することを目的とする。具体的には、崩壊の兆候を確認し「応急対策の必要性」を判断するとともに、盛土形状や保全対象との離隔等を精査して「安全性把握調査の優先度評価」を行う。これらを通じて「既存盛土等カルテ」を整備し、宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく適切かつ効率的な区域管理と、災害の未然防止を図るものである。

(計画準備)

第2条 受注者は、本業務の実施にあたり業務の目的・主旨を把握したうえで業務内容を確認し、徳島県設計業務共通仕様書に定める業務計画書を作成して提出する。

(既存盛土等カルテの作成)

第3条 別紙に示す各箇所の様式1「既存盛土等カルテ」を作成する。なお、既存盛土等カルテは「第5条 安全性把握調査の優先度評価」の段階で判明する内容も含むため、安全性把握調査の優先度評価と合わせて完成させるものとする。

(応急対策の必要性判断)

第4条 「R7 都市 盛土規制法に基づく既存盛土等分布調査業務」で把握された盛土等について、公道等からの現地確認等により、応急対策の必要性を判断する。なお、既に崩壊が発生し又は崩壊し始めている場合は、応急対策が必要な盛土等と判断し、応急対策の実施対象とする。

2 応急対策が必要な盛土等は、「既に崩壊が発生し又は崩壊し始めている場合」であり、その時点で土砂の流出や遠方から判別できるような比較的規模の大きな変状が生じていることが想定されるため、現地確認の方法は、公道等からの遠方観察を基本とする。

3 公道等からの遠方観察が困難な箇所については、発注者と協議の上、状況確認方法を決定する。

(安全性把握調査の優先度評価)

第5条 法令許可等の状況や、盛土等のタイプに応じた保全対象との離隔、盛土等の状況を踏まえ、把握された既存盛土等について、安全性把握調査が必要なもの、経過観察を行うもの、当面の間対応が不要なものに分類するものとする。

2 現地確認を行い既存盛土等に該当するか確認を行う。また、以下の項目について現地において確認を行う。

(1) 盛土、切土及び擁壁の変状の有無

- (2) 湧水等の有無
- (3) 災害防止措置が不十分か
- (4) 盛土下の不安定な土層の有無

法令許可等状況調査結果や現地踏査結果及び次項の盛土タイプに応じた保全対象との離隔等により、各箇所について、安全性把握調査が必要なもの、経過観察を行うもの等に分類する。なお、応急対策が必要と判断された盛土は、安全性把握調査が必要なものに分類する。

3 盛土タイプ等分類及び保全対象との離隔確認を行う。各箇所について以下の盛土等のタイプに分類した上で、地形図等により保全対象との離隔が十分確保されているかを確認する。

- (1) 谷埋め盛土
- (2) 腹付け盛土
- (3) 平地盛土
- (4) 切土

なお、保全対象との離隔は、断面図及び平面図を作成し、崩壊土砂の移動方向、被害想定範囲を設定し、確認するものとする。断面図及び平面図は、申請書類等の活用、または、最新の DEM データ等により作成することとする。

4 前項の結果等により、優先度評価フローに従い優先度評価を実施し、評価結果を一覧表及び既存盛土等カルテに取りまとめる。なお、フローの判定基準等については、発注者と協議の上決定する。

(報告書作成)

第6条 本業務の成果品として、実施した内容について検討した経緯等含めとりまとめた概要書を作成するとともに業務内容をとりまとめ、報告書を作成する。本業務の成果のうち、GIS データのファイル形式はシェープファイルとする。また、GIS データ及び背景を国土地理院の 1/25,000 地形図とした PDF データで納品すること。

(打合せ)

第7条 打合せは、業務着手時、中間打合せ 1 回、成果物納入時の計 3 回実施するものとする。なお、業務着手時及び成果物納入時には、原則として管理技術者が立ち会うものとする。

(成果品)

第8条 本業務の成果品は、以下の通りとする。

- (1) 業務報告書 2 部
- (2) 各種電子データ (GIS データ含む) (DVD-R) 一式
- (3) その他協議の上、決定したもの 一式

別紙：既存盛土等一覧表

盛土番号	基本情報			既存盛土等分布調査		
	土地の所在地及び地番		規制区域の 種別	盛土等の 面積※ (㎡)	盛土等の タイプ	区域指定日 との前後関 係
	市町村	詳細				
阿南市M0001	阿南市	羽ノ浦町宮倉	宅造	3,428	平地盛土	前
阿南市M0002	阿南市	羽ノ浦町古毛	宅造	109,454	腹付け盛土	前
阿南市M0003	阿南市	羽ノ浦町明見	宅造	4,119	平地盛土	前
阿南市M0004	阿南市	羽ノ浦町中庄	宅造	4,050	平地盛土	前
阿南市M0005	阿南市	羽ノ浦町宮倉	宅造	5,014	平地盛土	前
阿南市M0006	阿南市	羽ノ浦町中庄	宅造	4,575	平地盛土	前
阿南市M0007	阿南市	羽ノ浦町中庄	宅造	4,464	平地盛土	前
阿南市M0008	阿南市	羽ノ浦町中庄	宅造	5,503	平地盛土	前
阿南市M0009	阿南市	羽ノ浦町中庄	宅造	5,036	平地盛土	前
阿南市M0010	阿南市	羽ノ浦町中庄	宅造	4,906	平地盛土	前
阿南市M0011	阿南市	羽ノ浦町岩脇	宅造	6,796	平地盛土	前
阿南市M0012	阿南市	羽ノ浦町岩脇	宅造	6,946	平地盛土	前
阿南市M0013	阿南市	羽ノ浦町岩脇	宅造	8,392	平地盛土	前
阿南市M0014	阿南市	羽ノ浦町岩脇	宅造	5,935	平地盛土	前
阿南市M0015	阿南市	羽ノ浦町中庄	宅造	12,522	平地盛土	前
阿南市M0016	阿南市	羽ノ浦町中庄	宅造	4,505	平地盛土	前
阿南市M0017	阿南市	那賀川町工地	宅造	3,802	平地盛土	前
阿南市M0018	阿南市	那賀川町上福井	宅造	5,567	平地盛土	前
阿南市M0019	阿南市	那賀川町北中島	宅造	3,898	平地盛土	前
阿南市M0020	阿南市	那賀川町上福井	宅造	4,691	平地盛土	前
阿南市M0021	阿南市	那賀川町中島	宅造	58,542	平地盛土	前
阿南市M0022	阿南市	中大野町	宅造	6,142	平地盛土	前
阿南市M0023	阿南市	下大野町	宅造	6,011	平地盛土	前
阿南市M0024	阿南市	中大野町	宅造	5,149	腹付け盛土	前
阿南市M0025	阿南市	上大野町	宅造	24,445	切土	前
阿南市M0026	阿南市	上中町	宅造	4,844	平地盛土	前
阿南市M0027	阿南市	上中町	宅造	5,228	平地盛土	前
阿南市M0028	阿南市	上中町	宅造	3,557	平地盛土	前
阿南市M0029	阿南市	上中町	宅造	3,950	平地盛土	前
阿南市M0030	阿南市	上中町	宅造	5,901	平地盛土	前
阿南市M0031	阿南市	上中町	宅造	6,590	平地盛土	前
阿南市M0032	阿南市	長生町	宅造	3,541	平地盛土	前
阿南市M0033	阿南市	宝田町	宅造	5,209	平地盛土	前
阿南市M0034	阿南市	上中町	宅造	4,851	平地盛土	前
阿南市M0035	阿南市	宝田町	宅造	4,470	平地盛土	前
阿南市M0036	阿南市	宝田町	宅造	4,971	平地盛土	前
阿南市M0037	阿南市	宝田町	宅造	3,130	平地盛土	前
阿南市M0038	阿南市	那賀川町中島	宅造	5,270	平地盛土	前
阿南市M0039	阿南市	那賀川町中島	宅造	5,178	平地盛土	前
阿南市M0040	阿南市	住吉町	宅造	7,887	平地盛土	前
阿南市M0041	阿南市	出来町	宅造	4,134	平地盛土	前
阿南市M0042	阿南市	西路見町	宅造	8,564	平地盛土	前
阿南市M0043	阿南市	西路見町	宅造	3,408	平地盛土	前
阿南市M0044	阿南市	辰巳町	宅造	47,992	平地盛土	前
阿南市M0045	阿南市	黒津地町	宅造	16,964	平地盛土	前
阿南市M0046	阿南市	下大野町	特盛	7,033	腹付け盛土	前
阿南市M0047	阿南市	長生町	宅造	4,733	谷埋め盛土	前
阿南市M0048	阿南市	宝田町	宅造	6,018	平地盛土	前
阿南市M0049	阿南市	富岡町	宅造	49,301	腹付け盛土	前
阿南市M0050	阿南市	宝田町	特盛	80,150	谷埋め盛土	前
阿南市M0051	阿南市	日開野町	宅造	3,332	平地盛土	前
阿南市M0052	阿南市	日開野町	宅造	5,275	平地盛土	前
阿南市M0053	阿南市	日開野町	宅造	6,647	平地盛土	前
阿南市M0054	阿南市	才見町	宅造	3,540	平地盛土	前
阿南市M0055	阿南市	才見町	宅造	10,059	腹付け盛土	前
阿南市M0056	阿南市	才見町	宅造	3,195	平地盛土	前
阿南市M0057	阿南市	除町	特盛	38,569	切土	前
阿南市M0058	阿南市	除町	宅造	11,915	腹付け盛土	前
阿南市M0059	阿南市	除町	宅造	11,610	腹付け盛土	前
阿南市M0060	阿南市	除町	宅造	19,787	谷埋め盛土	前
阿南市M0061	阿南市	除町	宅造	5,224	切土	前
阿南市M0062	阿南市	内原町	宅造	6,514	腹付け盛土	前
阿南市M0063	阿南市	津乃峰町	宅造	10,976	切土	前
阿南市M0064	阿南市	見能林町	宅造	3,857	平地盛土	前
阿南市M0065	阿南市	津乃峰町	宅造	3,248	平地盛土	前
阿南市M0066	阿南市	中林町	宅造	5,389	腹付け盛土	前
阿南市M0067	阿南市	阿瀬比町	特盛	20,762	切土	前
阿南市M0068	阿南市	橘町	宅造	16,949	切土	前
阿南市M0069	阿南市	津乃峰町	宅造	16,977	平地盛土	前
阿南市M0070	阿南市	津乃峰町	宅造	41,199	平地盛土	前
阿南市M0071	阿南市	新野町	宅造	3,927	切土	前
阿南市M0072	阿南市	福井町	宅造	4,483	切土	前
阿南市M0073	阿南市	橘町	特盛	4,812	腹付け盛土	前
阿南市M0074	阿南市	橘町	特盛	7,881	谷埋め盛土	前
阿南市M0075	阿南市	橘町	特盛	15,364	谷埋め盛土	前
阿南市M0076	阿南市	福井町	特盛	103,873	谷埋め盛土	前
阿南市M0077	阿南市	福井町	宅造	4,460	切土	前
阿南市M0078	阿南市	福井町	特盛	4,172	平地盛土	前
阿南市M0079	阿南市	福井町	宅造	9,476	切土	前
阿南市M0080	阿南市	福井町	特盛	5,882	切土	前
阿南市M0081	阿南市	福井町	特盛	9,580	谷埋め盛土	前
阿南市M0082	阿南市	福井町	特盛	18,764	切土	前
阿南市M0083	阿南市	椿町	特盛	3,997	腹付け盛土	前
阿南市M0084	阿南市	椿町	特盛	20,806	谷埋め盛土	前
阿南市M0085	阿南市	福井町	特盛	27,035	谷埋め盛土	前

# 既存盛土等カルテ(概要・総評)

M0000

様式1

## 既存盛土等分布調査結果

盛土番号	M0000	所在地住所	〇〇県△△市□□ ××-××-××					
座標	北緯 〇〇° △△′ □□″ 東経 ●●° ▲▲′ ■■″ 造成(許可)年代 H28							
盛土等のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 盛土 ( <input type="checkbox"/> 平地 <input type="checkbox"/> 谷埋め <input type="checkbox"/> 腹付け ) <input type="checkbox"/> 切土 <input type="checkbox"/> 土石の堆積							
盛土等の形状	面積A	4,000 m <sup>2</sup>	幅W	40.0 m	距離d	100.0 m	のり面勾配	75.0 °
	高さH	10.0 m	厚さD	2.0 m	原地盤勾配α	20.0 °	盛土量V	20,000.0 m <sup>3</sup>
周辺の保全対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 公共施設等		通報・パトロール等の情報			10/25通報あり		
その他情報	特になし		調査対象選定理由			3,000m <sup>2</sup> 以上のため		

## 【位置図】

※様式6の図面を掲載

## 【平面図】

※様式2の図面を掲載

## 応急対策の必要性判断結果

現地調査等の確認結果	盛土上部の亀裂等の部分的な変状は見られるものの、崩壊は認められない。		
応急対策の必要性	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 安全性把握調査の優先度評価結果

1)法令許可等の状況	①許可・届出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	②許可等の内容と現地状況の整合	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	③災害防止措置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 崖面崩壊防止施設 )
2)原地盤の勾配	<input checked="" type="checkbox"/> 1/10より大きい <input type="checkbox"/> 1/10以下	
3)保全対象との隔離	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	

4)盛土等の状況	(1)盛土、切土及び擁壁の変状	<input type="checkbox"/> 既に崩壊が発生し又は崩壊し始めている <input type="checkbox"/> 崩壊を示唆する変状 <input checked="" type="checkbox"/> その他部分的な変状 <input type="checkbox"/> 無 ( 特になし(変状) )
	(2)湧水等	<input type="checkbox"/> 湧水等有 <input checked="" type="checkbox"/> 湧水等の可能性有 ( <input type="checkbox"/> 地下水水位高 <input checked="" type="checkbox"/> 地下水水位低 ) <input type="checkbox"/> 無 ( 特になし(湧水) )
	(3)災害防止措置	<input type="checkbox"/> 不十分 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 無 ( 特になし(災害防止措置) )
	(4)盛土の下の不安定な土層	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 ( 特になし(不安定土層) )

## 【断面図】

※様式6の図面を掲載

【総評】	盛土上面及びのり面に部分的な変状が認められる。
	優先度区分 A2

## 安全性把握調査結果

## 経過観察結果

【地盤定数】	代表N値	単位体積重量 (kN/m <sup>3</sup> )	粘着力 (kN/m <sup>2</sup> )	内部摩擦角 (°)	せん断波速 (m/s)	市時		地震時	
						1	2	1	2

本業務では使用しない

経過観察結果 (待機中) <input type="checkbox"/> 経過観察(詳細) <input type="checkbox"/> 経過観察(概要)			
経過観察状況			備考
引継ぎ事項(点検時期、優先度評価区分の見直し等)			

【総評】	安全対策状況	復旧対策状況	維持管理状況



【保全対象の確認】

盛土等の安全対策推進ガイドライン及び同解説の表6.2を参考に  
盛土等のタイプに応じた保全対象との離隔を確認

※保全対象(住宅・公共施設等)を図中に明示

# 既存盛土等カルテ(応急対策の必要性判断結果)

M0000

様式3

調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	【現地確認の可否】
2024年4月1日 13:30	降水量(mm)	0	0	10	0	0	20	公道からの目視確認が可能

【位置図】

※様式2の図面を掲載

【現地写真】

写真

※様式5の写真から抜粋して掲載

写真1

写真

写真2

写真

写真3

写真

写真4

写真

写真5

写真

写真6

【現地確認結果】

盛土上部の亀裂等の部分的な変状は見られるものの、崩壊は認められない。

盛土等の崩壊や変状等		盛土等のタイプに応じた保全対象との距離の目安	
※目安の例	既に崩壊が発生している場合	<p>盛土のり面に崩壊が発生し、盛土頭部や中腹において土砂が不安定化している</p> <p>擁壁の倒壊や道路の大規模な陥没・隆起等、盛土の崩壊が発生している</p>	<p><b>平地盛土</b></p> <p><math>L \leq 2H</math>程度</p> <p>保全対象との距離 <math>L</math></p> <p>盛土高 <math>H</math></p> <p>原地地勾配 1/10以下</p>
	崩壊し始めている場合	<p>盛土のり面に部分的な崩壊や、のり肩に大規模な亀裂・明瞭な段差が生じる等、崩壊し始めている(崩れかけている)</p> <p>盛土のり肩に大規模な亀裂・明瞭な段差が生じ、擁壁が大きくハラミ出している等、崩壊し始めている(崩れかけている)</p>	<p><b>谷埋め盛土</b></p> <p>渓床勾配 <math>\geq 2</math>度の区間</p> <p>2度 (渓床勾配)</p> <p><b>切土</b></p> <p><math>L \leq 2H</math>程度</p> <p>保全対象との距離 <math>L</math></p> <p>切土高 <math>H</math></p>
		<p><b>腹付け盛土</b></p> <p><math>l \leq 5h</math>程度</p> <p>保全対象との距離 (保全対象から盛土のり肩までの水平距離) <math>l</math></p> <p>約11度</p> <p>保全対象から盛土のり肩までの高さ <math>h</math></p> <p><math>l \leq 5h</math>程度 (<math>l</math>の範囲に渓床が存在する場合は、渓床勾配 <math>\geq 2</math>度の区間)</p> <p>保全対象との距離 (保全対象から盛土のり肩までの水平距離)</p> <p>保全対象から盛土のり肩までの高さ <math>h</math></p>	

【応急対策の必要性】  有  無

# 既存盛土等カルテ(安全性把握調査の優先度評価(1))

M0000

様式4

調査日時		天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	現地踏査				
2024年4月1日 13:30		降水量(mm)	0	0	10	0	0	20	評価指標	確認項目	盛土	切土	現地状況
基礎資料整理										湧水等がある (2) 湧水等の有無 湧水等の可能性がある (3) 災害防止措置が不十分か 安(定)な土盛土下の有無 ※優先度評価区分			
盛土等のタイプ		<input checked="" type="checkbox"/> 盛土 ( <input type="checkbox"/> 平地 <input type="checkbox"/> 谷埋め <input type="checkbox"/> 腹付け ) <input type="checkbox"/> 切土 <input type="checkbox"/> 土石の堆積											
法令許可等の状況		①許可・届出の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ②許可等の内容と現地状況の整合 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ③災害防止措置の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 崖面崩壊防止施設 )											
原地盤勾配		<input checked="" type="checkbox"/> 1/10より大きい <input type="checkbox"/> 1/10以下 ( 20.0 ) ° ※勾配:1/10= 5.710°											
保全対象	住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( 20 ) 軒 ( <input type="checkbox"/> 団地 ) <input type="checkbox"/> 避難所 ( <input type="checkbox"/> 公民館 ) <input type="checkbox"/> 緊急輸送路 ( <input type="checkbox"/> 道 )											
	公共施設等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 河川 ( <input type="checkbox"/> 川 ) <input type="checkbox"/> 鉄道 ( <input type="checkbox"/> 駅 )											
	その他特記事項	— ( 特になし )											
保全対象との離隔		<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分											
指定等	各種指定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 宅地造成等工事規制区域 <input type="checkbox"/> 特定盛土等規制区域 <input type="checkbox"/> 災害危険区域 <input type="checkbox"/> 土砂災害特別警戒区域 若しくは土砂災害警戒区域 <input type="checkbox"/> 急傾斜地崩壊危険区域 <input type="checkbox"/> 砂防指定地 <input type="checkbox"/> 地すべり防止区域 <input type="checkbox"/> 人口集中地区 ( DID地区 )											
	その他特記事項	— ( 森林区域 )											
現地踏査										【簡易地盤調査結果】 地下水位 ( ) m 盛土厚に対する地下水位 ( ) m			
(1) 盛土・切土及び擁壁の変状の有無	盛土上面	亀裂	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
		沈下	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
		隆起	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
	擁壁	補修履歴	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
		擁壁とその基礎の変状	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
		擁壁背面の水溜り等	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
	のり面保護工	補修履歴	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
		のり面保護工の変状	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
		のり面	<input type="checkbox"/> 崩壊、崩壊跡 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) <input type="checkbox"/> ガリ浸食跡、洗掘 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) <input type="checkbox"/> ハラミ、段差 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) <input type="checkbox"/> 亀裂 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) <input type="checkbox"/> 排水工の変状やのり面浸食 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) <input type="checkbox"/> 肌落ち、小落石の痕跡 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
	その他	災害の痕跡	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
		根曲がり	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
		道路の変状	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
	地質状況	不適切な土地利用による荷重	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
		亀裂や節理に富む岩盤	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
		風化した岩盤	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( )										
その他特記事項	— ( 特になし(変状) )												
変状の程度		<input type="checkbox"/> 既に崩壊が発生し又は崩壊し始めている <input type="checkbox"/> 崩壊発生を示唆する変状 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他部分的な変状											
※目安の例	既に崩壊が発生し又は崩壊し始めている	既に崩壊が発生している場合	盛土のり面に崩壊が発生し、盛土頭部や中腹において土砂が不安定化している										
		崩壊し始めている場合	擁壁の倒壊や道路の大規模な陥没・隆起等、盛土の崩壊が発生している										
		崩壊し始めている場合	盛土のり面に部分的な崩壊や、のり面に大規模な亀裂・明瞭な段差が生じる等、崩壊し始めている(崩れかけている)										
	崩壊発生を示唆する変状が認められる	盛土等全般	一定の連続性を有し、点在する複数の変状をつなぐと崩壊ブロックが想定される(確認できる場合は、変状の規模拡大等の進行性がある)										
		盛土上面	面的に連続したクラック、クラック、陥没、沈下、隆起など、盛土上面において、崩壊ブロックの移動を示唆する変状が認められる										
		擁壁	擁壁の連続したクラック・傾倒、面的な目地ズレ・ハラミなど、擁壁全体の移動を示唆する変状が認められる(水平クラックや連続した傾倒などは注意)										
その他部分的な変状が認められる	のり面	のり面の連続したクラック、面的なハラミ・凹凸など、崩壊ブロックの移動を示唆する変状が認められる(のり面の亀裂や沈下、のり面の押し出し・隆起などは注意)											
	盛土等全般	一定の連続性や進行性は確認されないものの、盛土のり面や小段に局部的・部分的な変状が認められる											
	盛土上面	部分的な盛土上面のクラック、沈下、隆起などが認められる											
変状等なし(安定性に関係ない変状)	擁壁	部分的な擁壁のクラック、傾斜、目地ズレ、ハラミなどが認められる											
	のり面	部分的なクラック、ハラミなどが認められる、のり面にガリ浸食跡が認められる											
	盛土の安定性に関係ないと判断できる、擁壁単体の劣化や凍結融解による亀裂、樹木の根による亀裂・隆起等												
変状の有無		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明											
盛土下の不安定な土層の有無		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明											
盛土上面及びのり面に部分的な変状が認められる		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明											
優先度区分		A2											
※1 当該項目の確認結果に応じて優先度のランクが変わるわけではないが、評価が必要な項目		※2 現地踏査の結果、湧水等の可能性が確認されたため、経過観察の実施に当たり、湧水等の有無に留意する											
※3 新たに変状や湧水等が確認された場合は、優先度ランクはC3となり経過観察(詳細)を実施する													

既存盛土等カルテ(安全性把握調査の優先度評価(2))

M0000

様式5



写真1



写真2



写真3



写真4

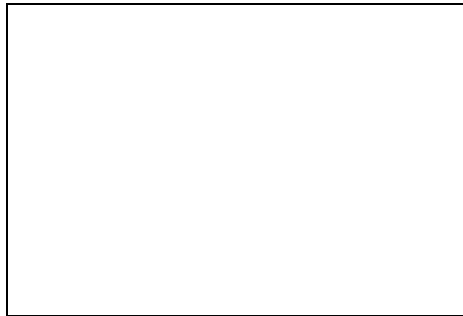


写真5

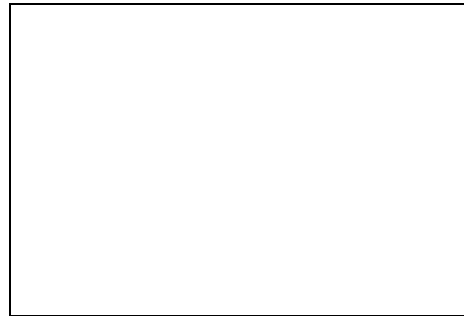


写真6

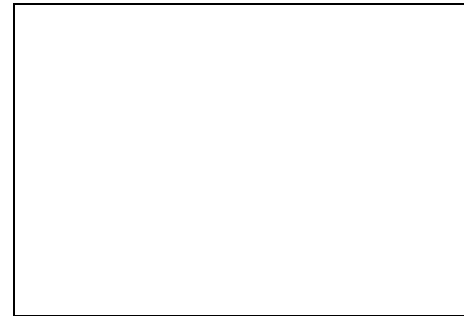


写真7

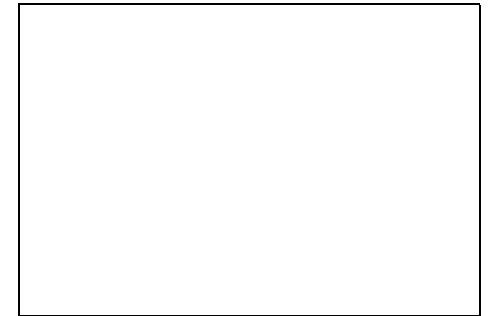


写真8

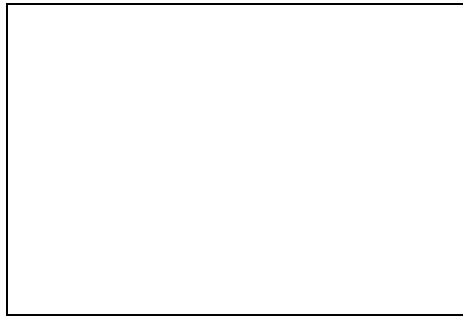


写真9

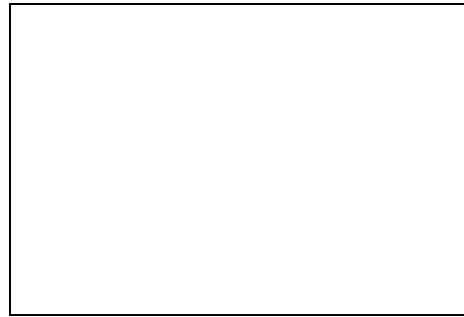


写真10

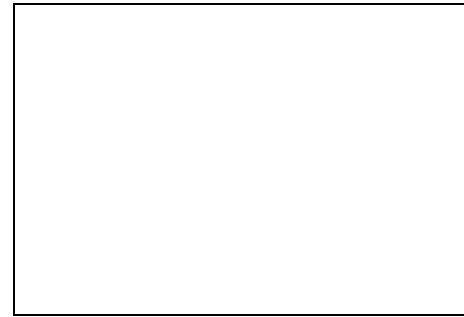


写真11

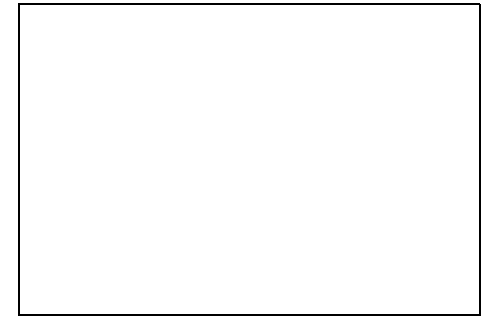


写真12

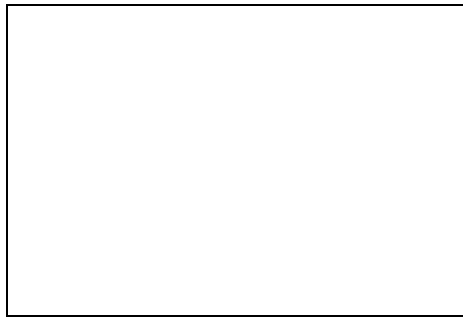


写真13

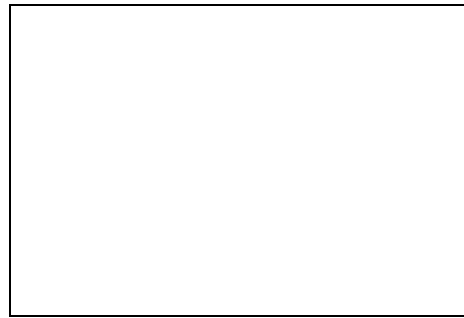


写真14

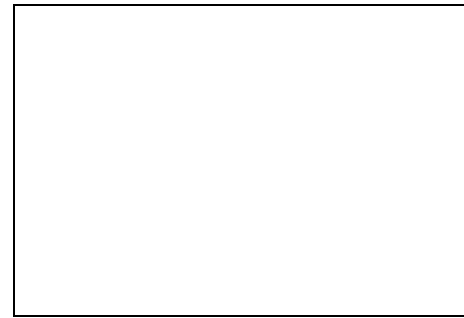


写真15

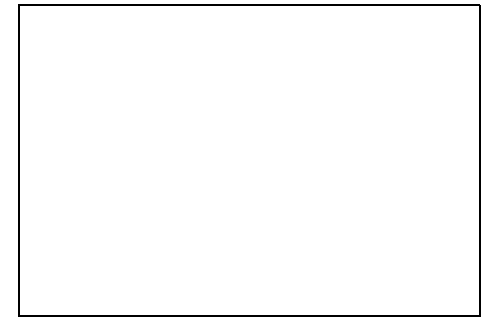


写真16